

正誤表

本書中に訂正箇所等がございました。訂正し、お詫び致します。お手数をお掛けしますが、訂正箇所を書き込んでお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

(2012年3月2日作成 2012年3月2日更新)

＜本正誤表掲載情報＞

- [P1] 第6刷(2011年9月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所
- [P1] 第5刷(2010年5月20日発行)をおもちの方が必要な修正箇所
- [P1] 第4刷(2008年5月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所
- [P1] 第3刷(2006年10月10日発行)をおもちの方が必要な修正箇所
- [P2] 第2刷(2006年2月10日発行)をおもちの方が必要な修正箇所
- [P2-3] 第1刷(2005年10月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

■第6刷(2011年9月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
34	右段, 15~17行目	図では酵素原子が電子を引きつけていることを強調して酵素の	図では酸素原子が電子を引きつけていることを強調して酸素の		12/03/02

■第5刷(2010年5月20日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
34	右段, 15~17行目	図では酵素原子が電子を引きつけていることを強調して酵素の	図では酸素原子が電子を引きつけていることを強調して酸素の		12/03/02
79	右段, 下から9行目	基質分子が0.05mMという濃度で	基質分子が5mMという濃度で		09/04/17

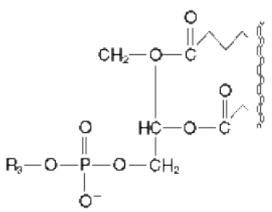
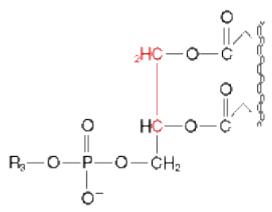
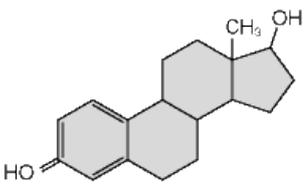
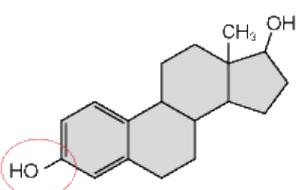
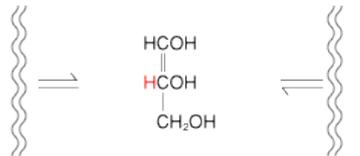
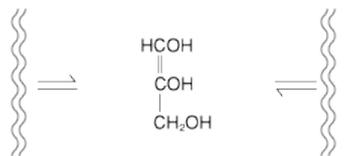
■第4刷(2008年5月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
34	右段, 15~17行目	図では酵素原子が電子を引きつけていることを強調して酵素の	図では酸素原子が電子を引きつけていることを強調して酸素の		12/03/02
79	右段, 下から9行目	基質分子が0.05mMという濃度で	基質分子が5mMという濃度で		09/04/17

■第3刷(2006年10月10日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

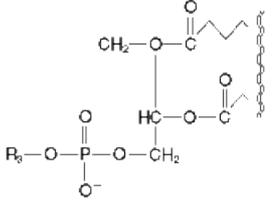
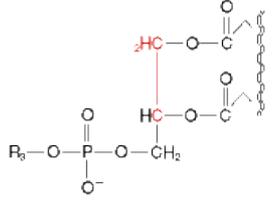
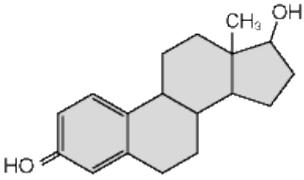
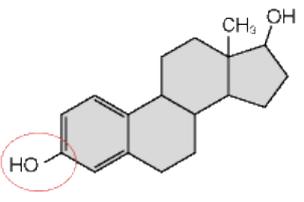
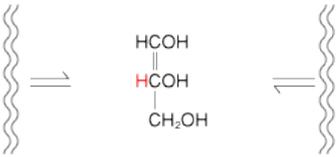
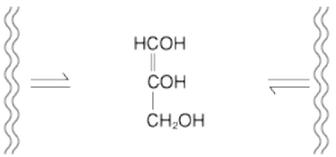
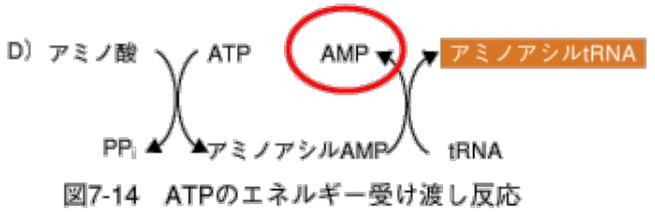
頁	場所	誤	正	補足	掲載
34	右段, 15~17行目	図では酵素原子が電子を引きつけていることを強調して酵素の	図では酸素原子が電子を引きつけていることを強調して酸素の		12/03/02
79	右段, 下から9行目	基質分子が0.05mMという濃度で	基質分子が5mMという濃度で		09/04/17

■第2刷(2006年2月10日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
23	「d 水はいつも解離している」内, 上から6行目	<p>平衡状態のとき、解離定数 K_a は</p> $K_a = [H^+][OH^-]/[H_2O]$ <p>で、$[H_2O]$ は 55.5 M (1 l の水のモル数) だから、</p> $K_w = K_a \times 55.5 = [H^+][OH^-] = 10^{-14} M$ <p>というわけだね。 K_w を水のイオン積といいます。</p>		左記の内容に差し替えてください	06/02/23
34	右段, 15~17行目	図では 酵素 原子が電子を引きつけていることを強調して 酵素 の	図では 酸素 原子が電子を引きつけていることを強調して 酸素 の		12/03/02
79	右段, 下から9行目	基質分子が 0.05mM という濃度で	基質分子が 5mM という濃度で		09/04/17
107	図4-24 上部の構造式			炭素の結合手が間違っていました	06/08/10
110	図4-28C エストラジオールの構造			左下は二重結合ではなく単結合です	06/08/10
118	左段, 上から5~6行目	実はこの2つは、 水素結合と二重結合 の位置を動かして…	● 実はこの2つは、 二重結合 の位置を動かして…		06/03/07
119	図4-33 A 一番上段に並んだ3つの化合物のうち, 中央のもの			中央の炭素についた水素を削除してください	06/03/07

■第1刷(2005年10月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
23	「d 水はいつも解離している」内, 上から6行目	<p>平衡状態のとき、解離定数 K_a は</p> $K_a = [H^+][OH^-]/[H_2O]$ <p>で、$[H_2O]$ は 55.5 M (1 l の水のモル数) だから、</p> $K_w = K_a \times 55.5 = [H^+][OH^-] = 10^{-14} M$ <p>というわけだね。 K_w を水のイオン積といいます。</p>		左記の内容に差し替えてください	06/02/23
29	図1-6	アデノシン シ リン酸(核酸)	アデノシン 三 リン酸(核酸)		05/12/21
34	右段, 15~17行目	図では 酵素 原子が電子を引きつけていることを強調して 酵素 の	図では 酸素 原子が電子を引きつけていることを強調して 酸素 の		12/03/02
79	右段, 下から9行目	基質分子が 0.05mM という濃度で	基質分子が 5mM という濃度で		09/04/17

107	図4-24 上部の構造式			炭素の結合手が間違っております	06/08/10
108	下から13行目	古生菌の膜ではグリセロ糖脂質が…	古細菌の膜ではグリセロ糖脂質が…		06/01/10
110	図4-28C エストラジオールの構造			左下は二重結合ではなく単結合です	06/08/10
118	左段、上から5～6行目	実はこの2つは、 水素結合と二重結合 の位置を動かして…	● 実はこの2つは、 二重結合 の位置を動かして…		06/03/07
118	左段、16行目吹き出し部分(生徒の質問)	糖がつながっているものも同じように表せるんですか？	天然のアミノ酸はL型でしたが、糖も片方だけなんですか？	質問内容が間違っておりました	05/12/21
119	図4-33 A 一番上段に並んだ3つの化合物のうち、中央のもの			中央の炭素についた水素を削除してください	06/03/07
125	コラム内 中央段、上から4～5行目	…節足動物の昆虫やムカデ、 軟体動物 のエビ、カニなど…	…節足動物の昆虫やムカデ、エビ、カニなど…	「 軟体動物 の」をとってください。	05/12/21
208	右段、下から15行目	(すべての分子が1molずつで25°C、 pH7.0)で…	(すべての分子が1molずつで25°C)で…	「 pH7.0 」を削除	06/01/10
219	20行目	(adenos h ine monophosphate)	(adenosine monophosphate)	「adenos h ine」の「 h 」を削除	06/01/10
220	図7-14D			ATPの横にAMPを挿入	06/01/10
226	右段、下から15行目	簡単に説明しておく、実はさっき(000ページ)で…	簡単に説明しておく、実はさっき(225ページ)で…	「000」を「225」に変更してください	05/12/21